



III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

| 教員名 | 研究課題 |
|--------|--|
| 中島 秀之 | AI研究の普及活動、一人称研究と環世界の概念を整理する |
| 椎野 亜紀夫 | 大規模停電発生時の都市公園水道施設利用に関する研究 |
| 齊藤 雅也 | 過去・現在・未来の想像温度の地域特性に関する研究 |
| 石井 雅博 | 行為による外界変化の認知に両者の適合性は影響するか |
| 大淵 一博 | 色彩分析・イメージ分析用Webアプリケーションの開発 |
| 安齋 利典 | ペルソナの一環性のある活用について |
| 柿山 浩一郎 | BtoB企業の製品評価に関する特徴抽出 |
| 西川 忠 | 1.アイスコンクリートの研究 2.自己治癒コンクリートのRC造建築物への適用に関する研究 3.木質外装材の経時による色変化の研究 4.コンクリートブロック造の品質向上と施工合理化に関する研究 |
| 藤木 淳 | 地域活性化のための位置情報を含む任意データに対するレトロRPG ゲーム風ビジュアルライズ手法の研究 |
| 細谷 多聞 | 地域連関型活動に関するデザイン研究 |
| 松井 美穂 | アメリカ南部文学研究 |
| 三谷 篤史 | 乗馬療育用バックサポート付きクッションの開発 |
| 山田 良 | 公共空間のデザインに関する研究 |
| 若林 尚樹 | 体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法 |
| 大島 卓 | 岩手県小岩井農場の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成 |
| 片山 めぐみ | 多世代共生を試みる公営集合住宅のコミュニティマネジメントと高齢者の交流実態 |
| 金子 晋也 | 木材資源の活用としての空き家の自主改修の実践 |
| 金 秀敬 | 干渉に着眼した文字認識における主観フィルターの干渉に関する研究 |
| 小林 重人 | ミクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルシステムデザイン |
| 小宮 加容子 | 誰もが一緒に楽しむことができるあそびのデザインに関する研究 |
| 武田 亘明 | 地域コミュニケーション活性化を目指した地域連携型プロジェクト |
| 張 浦華 | 特徴的な作品を目指したセラミック創作 |
| 並木 翔太郎 | 嗅覚認知と言語化に関する研究 |
| 丸山 洋平 | 1.人口移動と単身化の関係—東京特別区を対象として 2.地域統計の客観的解釈に関する研究—地域別ランキングの批判的検討を通して 3.北陸新幹線金沢延伸前後の北陸3県の人口移動 4.Child-Woman Ratioの分母年齢と地域別将来人口推計の精度との関係 |
| 森 朋子 | 北海道内の太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題 |
| 山田 信博 | 団地のコミュニティ形成に向けた実証実験の有効性検証 |
| 横溝 賢 | 社会実践デザインの視覚化手法の研究 |
| 石田 勝也 | 環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究 |



| 教員名 | 研究課題 |
|--------|---|
| 須之内 元洋 | 北海道の文化芸術アーカイブ基盤構築にむけたリサーチと制度設計 |
| 福田 大年 | 見立て観察と協創を連動させたアイデア生成経験学習プログラムの開発 |
| 松永 康佑 | 四分円環体が連結した運動によるアニメーション知覚に関する研究 |
| 坪内 健 | 移設型仮設住宅を用いた被災者の私有地における環境移行の特徴： 平成30年北海道胆振東部地震による導入事例を対象として |
| 矢久保 空遥 | ダマスカス鋼製理美容鋏の感性評価と音響特性調査 |
| 吉田 彩乃 | 生体内の情報処理に着目した知能ロボット構築のための基礎的研究の予備研究 |

看護学部

| 教員名 | 研究課題 |
|--------|--|
| 松浦 和代 | 1. モンゴル国における発育性股関節形成不全ハイリスク群への育児指導とその評価 2. 乳児虐待リスク予測システム（仮称）の構築に向けた基礎調査 |
| 菊地 ひろみ | 在宅看護を担う新卒・新人訪問看護師育成の取り組み |
| 荒木 奈緒 | 出生前検査の各検査の受検における意思決定の際に妊婦が抱く心理の違いについて |
| 川村 三希子 | 看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究 |
| 卯野木 健 | 集中治療後症候群の解明 |
| 小田 和美 | 「熟練看護師のもつ実践知の可視化に関する研究 －「看護の教育的関わりモデル」の構成要素の概念分析 |
| 貝谷 敏子 | 高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築 |
| 喜多 歳子 | 「子どもの貧困」を支援する保健師活動の特徴 |
| 定廣 和香子 | 国際協奏型プロジェクトによるデリバリー型アートインホスピタルモデルの開発 |
| 佐藤 ひとみ | 電子看護記録システムを利用した演習方法に必要な機能の検討 |
| 樋之津 淳子 | 大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果 |
| 加藤 依子 | Food Allergyをもつ幼児の親を対象としたElectronic Diaryの導入とその評価 |
| 菅原 美樹 | 二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー |
| 高橋 奈美 | ALSの進行過程におけるALS患者と家族の関係性に関する研究 |
| 原井 美佳 | 寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 |
| 檜山 明子 | 入院患者に対する転倒予防看護実践方法の検討 |
| 藤井 瑞恵 | 看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による事業の実施と効果検証 |
| 本田 光 | 子育て支援に関するWebアプリの効果の検証 |
| 村松 真澄 | 介護老人福祉施設におけるエンドオブライフケアについてCNSやCN、NPなどがかわることで質の高いケアが提供できるか |
| 守村 洋 | メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究） |
| 石引 かずみ | 開業助産師の分娩期におけるWomen centered careの認識と実践 |
| 伊東 健太郎 | 当事者参加型の精神看護学シミュレーション教育に参加した当事者の思い |
| 岡 園代 | 超低出生体重児の出生直後の初期ケアプロセス |
| 鬼塚 美鈴 | 積雪寒冷期大地震の災害急性期における病院での災害看護活動に関するリスクの特定 |
| 工藤 京子 | コロナ禍での患者会のあり方と支援 |

| 教員名 | 研究課題 |
|--------|---|
| 黒田 紀子 | プレコンセプションケアの概念分析 |
| 武富 貴久子 | ①副師長対象のリフレクションを活用した継続教育プログラムの実践 ②根拠に基づく看護実践のための情報リテラシーに関する研究 ③看護実践環境と看護師の心理的エンパワーメントの関連 ④臨床研究を行う看護師（リサーチナース）のサポートシステムの構築 |
| 牧田 靖子 | 札幌市における乳幼児の「窒息・誤飲」による事故の実態と事故予防対策 |
| 三戸部 純子 | 薬剤情報の見逃し・見誤りの実験的検討 |
| 矢野 祐美子 | 中小規模病院の看護師長を対象とした継続学習支援 |
| 山本 真由美 | 客観的看護実践能力（OSCE）のCOVID-19による影響 -助産学専攻科新生児観察に焦点を当てて- |
| 山出 誓子 | 日本における一般病棟の看護チーム活動に影響する要因に関する質的研究：スコーピングレビュー |
| 市戸 優人 | 1.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証 2.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有用性・有効性の検証 |
| 大友 舞 | 妊娠初期における口腔内自覚症状と関連要因の分析 |
| 久保田 祥子 | 1.性的同意概念の分析と教育への示唆 2.満期単胎骨盤位の一律帝王切開に関する倫理的考察 |
| 栗原 知己 | 集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性に関する研究 |
| 近藤 圭子 | 地域住民における地域医療に関する思いの実態把握 |
| 坂本 結城 | 「生活」の概念分析～生活学および看護関連分野に焦点をあてて～ |
| 渋谷 友紀 | 1.リカバリーの視点で当事者の全体像を捉えるための取り組み -当事者参加型演習における学びのレポート分析から- 2.精神科医療における暴力のシナリオを用いたシミュレーション教育 -情緒的難易度を考慮した段階的な試み- 3.サービスデザイン手法を応用した教材作成方法に関する研究 -ユーザーの行動を中心としたアプローチにより意欲を引き出す試み |
| 田仲 里江 | 看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築 |
| 平山 憲吾 | がん薬物療法を受ける進行がん患者を支える高齢配偶者の体験 |
| 吉田 実和 | 血圧測定 技術 動画教材 における 映像表現技法 の分析 |
| 中田 亜由美 | コロナ禍におけるA地域在住高齢者の社会活動実態調査 |
| 齋 若奈 | 外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーに関する研究 |

AITセンター

| 教員名 | 研究課題 |
|-------|---------------------------------------|
| 高橋 尚人 | 2022年2月の札幌圏での大雪時のTwitterデータおよび人流データ分析 |

2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

| 教員名 | 研究課題 |
|-------|---------------------------------------|
| 坪内 健 | 「べてるの家」における地域資源を活用した精神疾患患者の地域移行モデルの解明 |
| 西川 忠 | 札幌軟石を使用した組積造建築物の耐震性診断法に関する研究 |
| 金子 晋也 | 北海道建築の歴史的価値からみた保存論の展開 |
| 張 浦華 | 札幌軟石とセラミックの特徴を複合化した“焼成札幌軟石”等の基礎研究 |
| 福田 大年 | 協働的な学習を支援する移動式ハイフレックス型授業配信システムの開発 |

共同研究

| 教員名 | 研究課題 |
|--|---|
| ◎定廣 和香子、細谷 多聞、 下水流 裕斗、三浦 友理子 | デザインと看護の連携による心電図初学者のための3D学習教材の開発 |
| ◎矢久保 空遥、川名 宏和 | マルチモーダル刺激に対応した感性評価アプリケーションの開発 |
| ◎金 秀敬、ピエル・レヴィ、 ファブリス・マントレ | 感覚融合に着目した知覚情報分析と知覚力向上への試み |
| ◎藤木 淳、檜山 明子、 松永 康佑、吉田 実和 | ゲーミフィケーションを用いた血圧測定技術教材の開発 |
| ◎片山 めぐみ、小林 重人、 武田 亘明、本田 光、 近藤 圭子 | マルシェとこども地域通貨を活用したフリースクールのプログラムデザイン |
| ◎石引 かずみ、松浦 和代、 三谷 篤史、牧田 靖子、 久保田 祥子 | 内診指を可視化する透明内診シミュレータDX教材の開発 ープロトタイプ I の作成 |
| ◎檜山 明子、高橋 尚人、 三戸部 純子 | 睡眠・活動の長時間モニタリングデータを活用した入院患者の転倒予測 |

◎印：代表者

田村ICT基金

| 教員名 | 研究課題 |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ◎三谷 篤史、村松 真澄、 松永 康佑、田頭 正一 | 高齢者の自己決定を促すレクリエーションシステム及びコンテンツの開発 |

◎印：代表者

採択状況

| 学術奨励研究 | | 共同研究 | | 田村ICT基金 | | 合計 | |
|--------|------|------|------|---------|------|------|------|
| 応募件数 | 採択件数 | 応募件数 | 採択件数 | 応募件数 | 採択件数 | 応募件数 | 採択件数 |
| 9 | 9 | 10 | 7 | 1 | 1 | 20 | 17 |

3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

| 研究代表者 | 研究課題 | 研究種目 | 金額（円） |
|--------|--|-----------|------------|
| 村松 真澄 | 人工知能を利用した高齢者の口腔アセスメントのスクリーニング構築の基礎研究 | 基盤研究（B） | 2,400,000 |
| 中島 秀之 | AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証的研究 | 基盤研究（A） | 12,610,000 |
| 齊藤 雅也 | 地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 | 基盤研究（C） | 910,000 |
| 貝谷 敏子 | 高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築 | 基盤研究（C） | 390,000 |
| 本田 光 | 子育てママの地域とのつながりを育むロボットアプリの開発及びその効果と課題の検証 | 基盤研究（C） | 520,000 |
| 矢部 和夫 | 泥炭採掘跡地の再湿潤化による群落、水質、および温室効果気体生成の初期変遷の追跡 | 基盤研究（C） | 390,000 |
| 藤井 瑞恵 | 看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築 | 基盤研究（C） | 1,560,000 |
| 松浦 和代 | モンゴル国における発育性股関節形成不全予防ケアの普及とその評価 | 基盤研究（C） | 1,040,000 |
| 加藤 依子 | 経口免疫療法を受ける子どものための体調管理アプリ「わたし・ぼくのカルテ」の開発 | 基盤研究（C） | 1,040,000 |
| 平山 憲吾 | 化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証 | 若手研究 | 1,690,000 |
| 原井 美佳 | 積雪寒冷な中山間地域に暮らしてきた高齢女性の地域活動の経験についての研究 | 基盤研究（C） | 520,000 |
| 檜山 明子 | 転倒リスク行動自己評価尺度と身体認識の誤差測定による転倒予測精度の検証 | 基盤研究（C） | 1,300,000 |
| 市戸 優人 | 思春期の子どもの親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証 | 基盤研究（C） | 1,040,000 |
| 鬼塚 美玲 | 積雪寒冷期大地震時の病院における災害看護活動のリスク解明と備えガイドラインの開発 | 基盤研究（C） | 1,560,000 |
| 高橋 奈美 | ALS患者家族への支援体制構築に向けた支援プログラムの構築 | 基盤研究（C） | 520,000 |
| 菊地 ひろみ | 医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンス促進看護モデルの創出 | 基盤研究（C） | 390,000 |
| 田仲 里江 | 大規模災害時の死体検案補助の人材育成と公衆衛生看護による遺族ケアの連携 | 基盤研究（C） | 910,000 |
| 小宮 加容子 | 未就学児を対象とした触覚刺激の指標化に関する研究 | 基盤研究（C） | 1,950,000 |
| 並木 翔太郎 | 使役交替に基づく北海道方言「ラサル」の形態統語的研究 | 若手研究 | 910,000 |
| 矢久保 空遥 | 「柔らかさ」に着目した感性の神経基盤解明の試み | 若手研究 | 1,820,000 |
| 大島 卓 | 農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策 | 若手研究 | 1,040,000 |
| 藤木 淳 | 視線距離に応じて閲覧者に異なる表面イメージを知覚させる立体表現手法 | 挑戦的研究（萌芽） | 2,730,000 |



| 研究代表者 | 研究課題 | 研究種目 | 金額 (円) |
|--------|--|------------|-----------|
| 若林 尚樹 | 体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法の開発 | 基盤研究 (C) | 1,300,000 |
| 森 朋子 | 北海道における国立公園から展開する広域景観形成へ向けた景観計画手法に関する研究 | 基盤研究 (C) | 1,040,000 |
| 近藤 圭子 | 住民が地域医療を守る住民協働型教育プログラム (北海道モデル) の開発 | 基盤研究 (C) | 1,560,000 |
| 卯野木 健 | 遠隔期における集中治療後症候群の実態と患者体験からみたリスク因子の解明 | 基盤研究 (C) | 1,950,000 |
| 菅原 美樹 | 二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー評価指標の開発 | 基盤研究 (C) | 650,000 |
| 牧田 靖子 | 「乳児虐待リスク予測システム (仮称)」プロトタイプの開発 | 基盤研究 (C) | 1,560,000 |
| 喜多 歳子 | 子どもの貧困世帯に対する保健指導の質向上を促すチェックシートの開発 | 基盤研究 (C) | 1,170,000 |
| 川村 三希子 | 認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおけるシミュレーション教育プログラムの開発 | 基盤研究 (C) | 390,000 |
| 坪内 健 | 残余宅地の解消プロセスからみる東日本大震災の集団移転計画の経年的実態把握 | 研究活動スタート支援 | 1,040,000 |

※課題番号順

受託研究費

| 研究代表者 | 研究課題 | 委託者 | 金額 (円) |
|--------|--|-----------------|---------|
| 矢部 和夫 | キウシト湿原保全基礎研究 | 登別市 | 200,000 |
| 矢久保 空遥 | ダマスカス鋼製理美容鉢の感性評価と音響特性調査 | (株)山村製作所 | 330,000 |
| 卯野木 健 | 重症患者における効果的な口腔ケア解明 | アルケア(株) | 330,000 |
| 吉田 彩乃 | 動物福祉に配慮した夏季の屋外放飼場のデザイン研究 | 札幌市 | 253,000 |
| 矢久保 空遥 | 動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた検証 | 札幌市 | 253,000 |
| 並木 翔太郎 | 新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究 | 札幌市 | 990,000 |
| 森 朋子 | 21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究 | 国立大学法人 北海道大学 | 253,000 |
| 高橋 尚人 | 雪埋没物の検知に関する研究 | 本田技術工業(株) | 198,000 |
| 羽深 久夫 | 厚真町吉野地区における環境整備に関する調査研究 | 厚真町 | 330,000 |

共同研究費

| 研究代表者 | 研究課題 | 委託者 | 金額 (円) |
|-------|--|--------------------|---------|
| 高橋 尚人 | 気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発 | (一財)日本気象協会 | 110,000 |
| 高橋 尚人 | 構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究 (その3) | 中日本高速道路(株) | 74,000 |
| 高橋 尚人 | コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価に関する研究 | トヨタ自動車(株) | 330,000 |
| 高橋 尚人 | 雪氷光散乱特性とニューラルネットワークを用いた雪氷モニタリングシステム技術の研究開発 | 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 | 0 |
| 西川 忠 | 歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究 | 浦臼町 | 480,000 |



| | | | |
|--------|-----------------------------------|------------------|-----------|
| 柿山 浩一郎 | BtoB企業のユーザビリティ評価の研究 | 東京エレクトロン(株) | 210,000 |
| 柿山 浩一郎 | 動画表現の効果測定研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価 | 三菱電機(株)統合デザイン研究所 | 2,500,000 |
| 吉田 彩乃 | SAVSシミュレータの改造 | (株)未来シェア | 0 |
| 松浦 和代 | 女性ホルモンリズムが心理状態や肌に与える影響の解明 | (株)資生堂 | 1,000,000 |
| 高橋 尚人 | 深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究 | (株)メイセイ・エンジニアリング | 300,000 |
| 高橋 尚人 | 救急需要予測に基づく救急車の最適配置に関する基礎研究 | 札幌市 | 1,210,000 |
| 高橋 尚人 | デジタル技術を活用した被災者支援のワンストップ化に係る基礎的研究 | 札幌市 | 4,950,000 |
| 高橋 尚人 | スマートシティ推進に向けたコネクティッドカーデータ活用に関する研究 | トヨタ自動車(株) | 2,772,000 |

4 寄附金の受入状況

| 教員名 | 寄附目的 | 寄附元 | 金額 (円) |
|-------|-----------------------------------|-----------|---------|
| 西川 忠 | 北海道内の石造建築、特に木骨石造の構造特性や耐震性解明のための研究 | 北電総合設計(株) | 180,000 |
| 羽深 久夫 | 工学研究の為 | 北電総合設計(株) | 200,000 |

5 その他研究助成

| 教員名 | 研究課題 | 助成元 | 金額 (円) |
|-------|--|------------------|-----------|
| 金子 晋也 | 北海道における文化的生態的景観に関する研修 | (公財)トランスコスモス財団 | 1,000,000 |
| 山田 信博 | 寒冷地のサンルーム付き住戸の居住特性と実践的改修に関する研究 | (一財)住総研 | 70,000 |
| 石井 雅博 | 「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」に関する公立大学法人札幌市立大学の研究開発 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | 2,600,000 |



6 海外出張記録

| 期間 | 教員名 | 目的国 | 用務 |
|------------------|--------|--------|--|
| 2022/07/01～10 | 金 秀敬 | ドイツ | 国際フォーラムIMRF2022参加 |
| 2022/08/18～29 | 定廣 和香子 | ノルウェー | ホスピタルアート展開のためのフィールド調査、打ち合わせ |
| 2022/09/02～12 | 金 秀敬 | イギリス | 国際学会E&PDE2022参加/国際学会KEER2022（スペイン）で研究発表のオンライン参加 |
| 2022/09/03～11 | 山田 良 | イギリス | 現代美術館 建築調査 |
| 2022/10/21～31 | 金 秀敬 | フィンランド | マルチモーダル知覚情報の干渉構造に着眼した、表象力向上に関する実証研究のための検証実験 |
| 2022/10/25～31 | 小林 重人 | ブルガリア | 6th Biennial RAMICS International Congress “Complementary Currency Systems Bridging Communities”での発表 |
| 2022/11/12～20 | 高橋 尚人 | スペイン | Smart City Expo World Congress (SCEWC) 参加、打ち合わせ |
| 2022/11/20～27 | 森 朋子 | ネパール | 世界遺産ルンビニの現地調査及び打ち合わせ参加 |
| 2023/02/05～09 | 須之内 元洋 | タイ | バンコクビエンナーレ視察 |
| 2023/02/10～03/11 | 張 浦華 | 台湾 | アーティストインレジデンス |
| 2023/02/20～27 | 高橋 尚人 | ポルトガル | 2023 15th International Conference on Agents and Artificial Intelligence (ICAART) 参加 |
| 2023/02/26～03/06 | 金 秀敬 | フィンランド | SCU×UT国際ワークショップ、美術館見学ツアー |
| 2023/03/18～25 | 高橋 尚人 | フランス | 世界道路協会（PIARC）打ち合わせ、Autonomy Mobility World Expo 2023参加 |
| 2023/03/24～04/01 | 森 朋子 | ネパール | UNESCOカトマンズ事務所による国際科学会議への出席 |